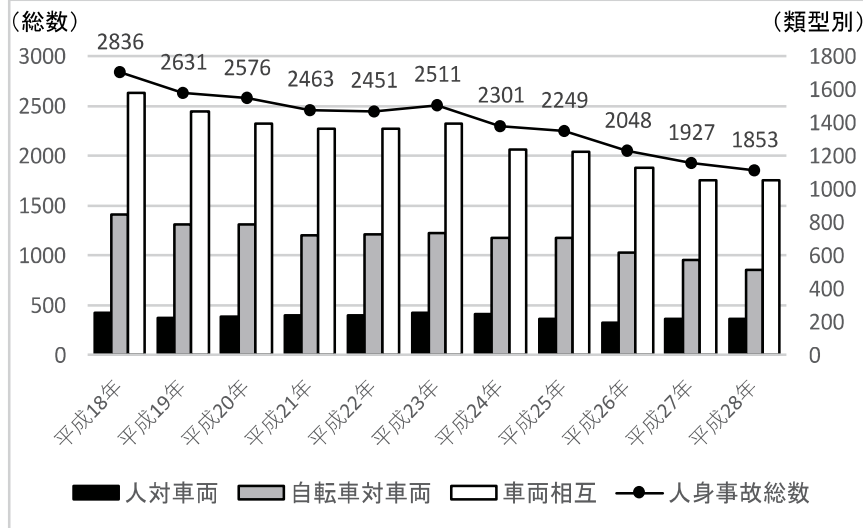
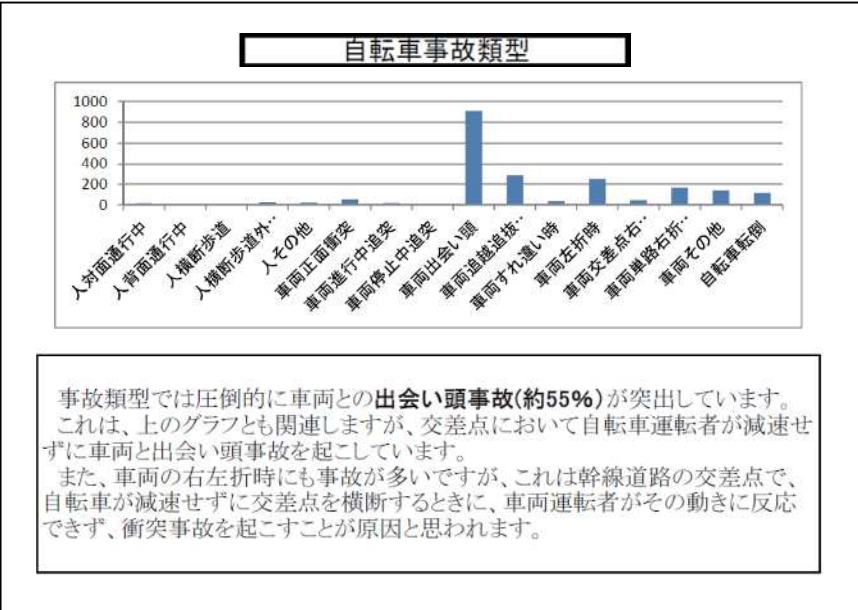


3. 歩行者及び自転車の安全対策について

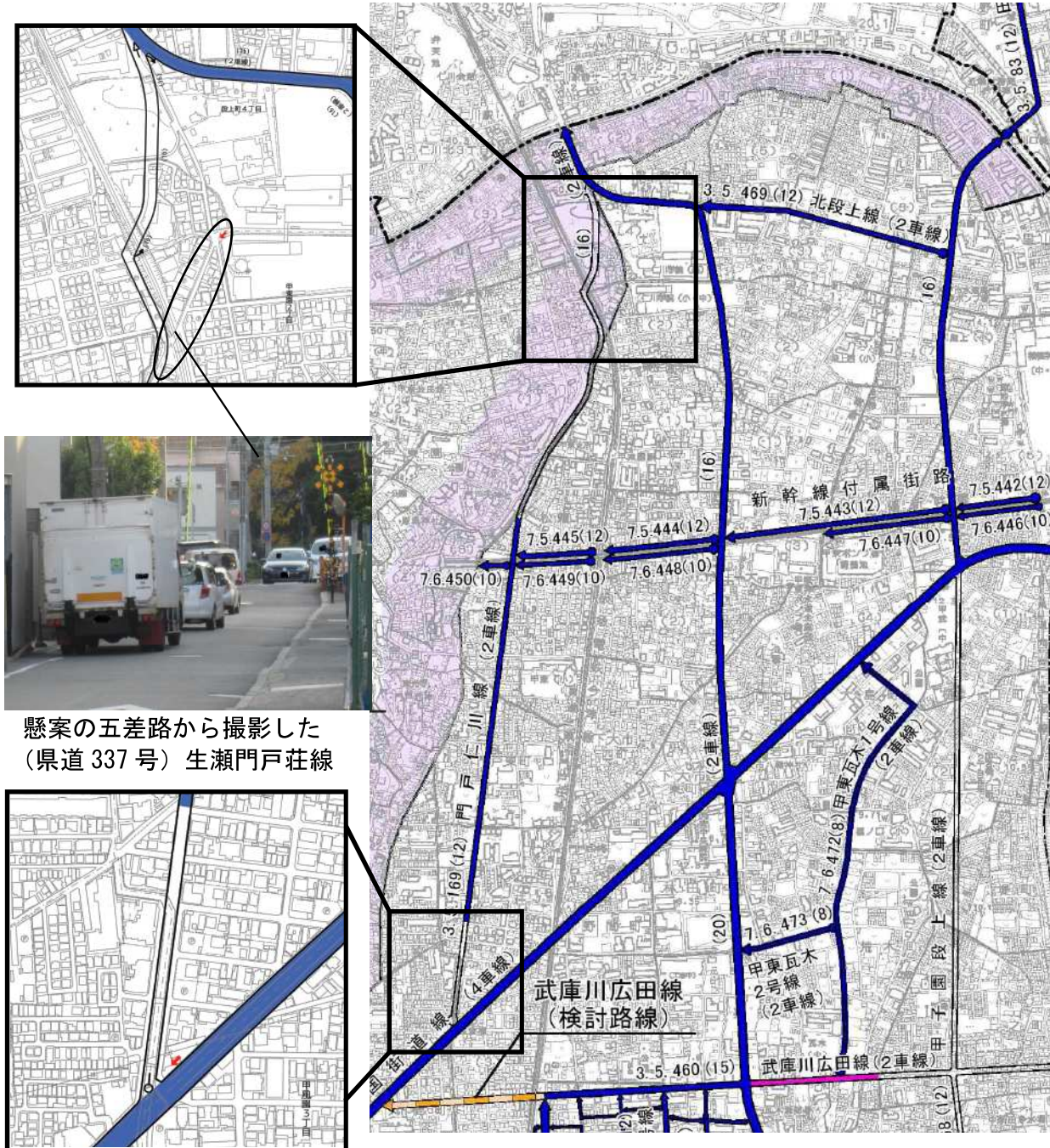
■ 図4：事故類型別人身事故発生状況



(参考)
西宮市ホームページ掲載資料（データから見る自転車事故の傾向）より抜粋



■ 図5：都市計画道路網図より抜粋（門戸仁川線の整備について）

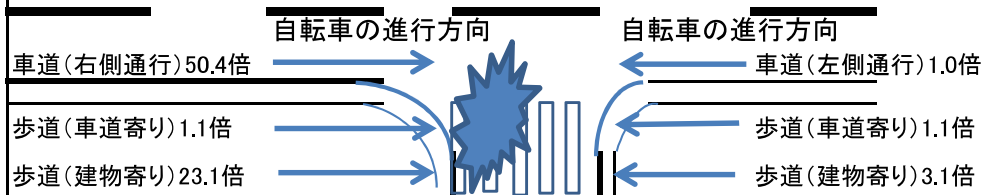


3. 歩行者及び自転車の安全対策について(参考)

自転車右側通行をしたときの危険性

全国データから分かる傾向

脇道交差点での車両と自転車の出合頭事故の危険性比較 (2002～2005(4年間)の事故を分析)



(出典:国土技術センター岸田論文による。)

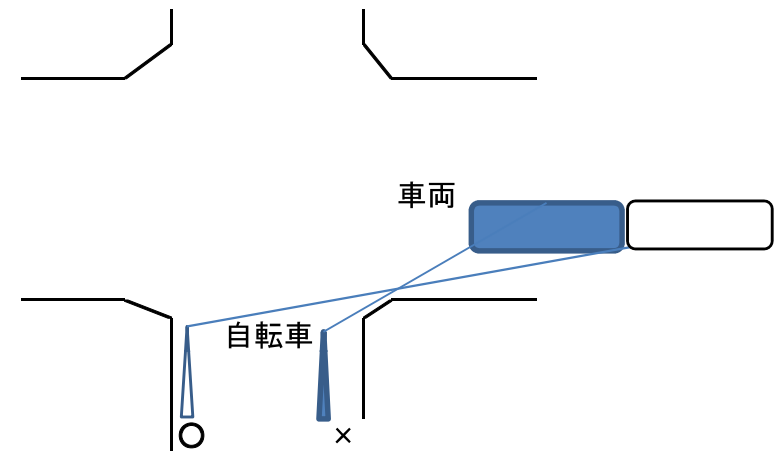
脇道の交差点での車両と事故の類型

出合頭	24,467件	76.2%
左折巻込	3210件	10.0%
右折巻込	1362件	4.2%
その他	3075件	9.6%
計	32,114件	100.0%

(出典:交通事故総合分析センターのデータに基づく)

脇道の交差点では、車両との**出会い頭事故が76.2%**となっています。
上図のように、**車道から右側通行で交差点に進入する自転車が、正規の左側車道を走行する自転車の50.4倍も危険である**とされています。
歩道から進入する場合も、正規に車道寄りを徐行すれば事故の確率は低いものの、**建物寄りを特に右側通行で進入すると、23.1倍も危険**であることが分かります。

生活道路の交差点の死角



生活道路の交差点での車両と事故の類型

出合頭	31,586件	86.6%
左折巻込	1362件	3.7%
右折巻込	1069件	2.9%
その他	2440件	6.7%
計	36,457件	100.0%

(出典:国土技術センター岸田論文による。)

生活道路の交差点では、車両との**出会い頭事故が86.6%**と圧倒的に多く、この事故を防げば、事故がほとんどなくなります。
このためには、**①一旦停止や安全確認を励行すること**
②クルマから死角になる右側通行での交差点侵入をなくすため、左側通行を徹底することが必要です。